

ゆめ通信



2~5 特集 ゆめシネマ

—2019年を振り返る—

6~7 活動紹介 2019年度イチオシの活動

8

CoderDojo松本@松本大学 各種表彰紹介

考房「ゆめ」は社会貢献活動を行う学生を支援しています。地域の方からの「お願い」を松大生とともに創造しています!



地域づくり考房「ゆめ」キャラクター こう坊

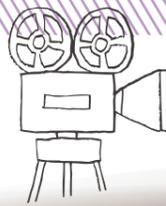


学校法人松商学園

松本大学

“ゆめ”の由来…結芽「二つの芽を結ぶ場所」+夢+遊眼「遊び心の視点を持つ眼」

地域づくり考房「ゆめ」は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に活かしていくことを目指しています。



特集 ゆめシネマ

2019年を振り返る

今年度も多くの学生が地域での様々な活動に取り組んできました。活動の思い出を映画のフィルムに乗せて振り返ってみましょう。



2019年 4月

地域住民と学生が憩いの場として、新村地区で茶房「みすゞ屋」をオープンしました。

◎いただきます!!プロジェクトでは、レシピ集「親子でつくろう絶品!おうちごはん」を作成しました。レシピ集には野菜の保存方法なども盛り込みました。



2019年 6月

すすき川花火大会プロジェクトでは、新加入のメンバーを対象に、会場となる松本市東部・薄川の下見をしながら今年度の活動計画を共有しました。



茶房「みすゞ屋」プロジェクトの学生は、地域の方から伝統の食文化「セたまんじゅう」を教えていただきました。



2019年 7月

救急応急対応研修を行い、活動中の事故やケガを未然に防ぐために気を付けることや、いざという時の対処法を学びました。

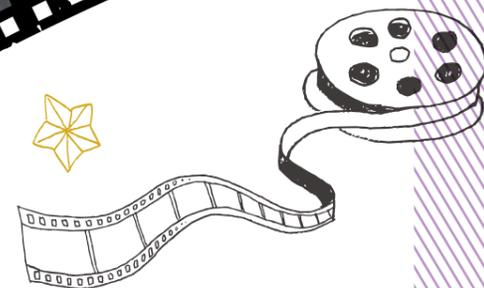
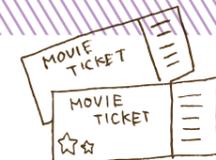
学生たちにとって恒例行事となってきた新村地区オープン大会では、ふらばーるバレーを通じて地域の方々とスポーツ交流を行いました。学生チームは初めて1勝できました。



2019年 8月

◎いただきます!!プロジェクトでは、新村児童センターの子どもたちと料理教室を行いました。

また、8月は様々な地区でお祭りが開催され、すすき川花火大会プロジェクトでは、花火大会当日に自分たちで作成したうちわを来場者へ配布しました。鎌田地区石芝商店会の石芝まつりでは、ヨーヨー釣りや射的などの出店を行い、子どもたちに楽しんでもらえました。



2019年 9月

茶房「みすゞ屋」で活動する地域の方々と学生が親睦を深め、みすゞ屋で使うお皿やマグカップを創りました。



小中学生に社会の仕組みを体験してもらったイベント・あるぷすタウンでは、子どもたちは様々な仕事をして給料を受け取り、納税した後に残ったお金で買い物や習い事などをして過ごしました。今年は避難所設営の体験ができるブースもありました。



2019年10月

ええじゃん栄村プロジェクトは、人の暮らしが育んだ山城や美しい風景、そこに息づく動植物、そしてそこに暮らし続けてきた人の歴史文化を学びに栄村を訪問してきました。



2019年12月

子どもたちに笑顔本プレゼント!

クリスマスを自宅で過ごせない子どもたちに本を贈る企画「サンタ・プロジェクト・まつもと」が行われ、松本大学のメンバーは、松本児童園に64冊、松本児童相談所に42冊、信濃学園に38冊、市民サンタからの本を贈りました。



2020年1月

ええじゃん栄村プロジェクトは、栄村小滝地区の道祖神祭りに参加しました。学生は子どもたちと干支のネズミのかまくらを作り、地域の方はそこにお賽銭を入れて家内安全を祈りました。書初めやダルマ、正月飾りをつけた藁のやぐらで高く上がる炎に子どもも大人も歓声を上げ、一年の無病息災を祈りました。

茶房「みずゞ屋」では、新村地区の皆さんとの交流会を行いました。地元のハーモニカクラブ・ハーモニックCの演奏を聴き、学生の立てたお抹茶を味わってもらいました。時が経つのも忘れる楽しい冬の日でした。



年間を通じて

こどもあそび隊プロジェクトでは、0～5歳の子どもと保護者を対象に「こども広場」を開催しました。絵本の読み聞かせや工作、体操などを通して異年齢との交流を促進しました。

キッズスポーツスクールプロジェクトでは、3～6歳の子どもを対象にスクールを開催しました。傘など身近なものを使ったミニゲームや、大人数で行うパラバルーン・大玉転がしなど、楽しみながら体を動かしてもらう工夫を凝らしました。

キッズホッケープロジェクトは、新村地区・和田地区の児童センターでホッケー教室を行いました。学年に応じて指導方法を考えながら練習に取り組み、年2回大会を開催して大いに盛り上がりました。



まとめ

ゆめシネマを通して、地域の中で生き生きと活動する学生たちの姿を思い描いていただけただしょうか？すべてをご紹介することはできませんでしたが、今年度も多くの地域の皆さんにご協力いただき、活動を行うことができました。改めまして、学生たちを受け入れてくださったことに御礼申し上げます。

来年度も、学生たちが地域を知り、活動へ参加していくことで、より深く地域と向き合っていくことができるよう、ご協力いただければと思います。



2019年度 イチオシの活動

地域づくり考房『ゆめ』では、学生たちが目的に応じて地域での活動へ自主的に取り組んでいるグループを「学生プロジェクト」と呼んでいます。プロジェクトには、学生の興味関心や趣味・特技がきっかけで始まったもの、地域の方が取り組んでいる活動に参加する中でプロジェクト化したもの、地域の方と学生が協力して新たに立ち上げたものがあり、現在12組が活動しています。今回は、各プロジェクトが今年度取り組んできた活動の中で、イチオシのものを紹介します。

こどもあそび隊

0～5歳の子どもの多くの人と触れ合う場、保護者同士の交流の場として「こども広場」を運営しています。



活動内容の見直し

活動に参加して

こども広場の開催内容がワンパターンになってきたため、なぜ活動しているのかを改めて話し合

ました。話し合いをした後は、内容は同じでも子どもの年齢ごとに接し方を変えたり、保護者の方たちへの対応を考えたりと工夫することができました。まだ行き届かない面もありますが、今後も活動内容を見直しながら取り組みたいです。

Sign

障がいを持つ方々との交流を通して障がいへの理解を深め、学内外に向けて情報発信を行っています。



学内バリアフリー調査

活動に参加して

今回、車イスで生活している地域の方にもご参加いただきました。多目的トイレや大学生協の商品

棚の間は狭く、車イスで動きづらかったです。移動時はスロープの斜面が急で、段差もひっきりありません。大学には来客もあり、生徒の車イス利用もあると思います。現状では障害がある方は過ごにくい環境ではないかと感じました。

キッズスポーツスクール

小学生未満の子どもたちに、体を使ったゲームやレクリエーションを通じて体を動かす楽しさを伝えています。



スクールの運営

活動に参加して

「キッズ」だけでなく、保護者の方を巻き込むことで子どもたちが安心して遊ぶことができました。

また、子どもたちが仲良くなるだけでなく、保護者の方も仲良く話している姿が見受けられました。参加者だけでなく運営する私たちも楽しくなる素敵な活動であり、親子での絆も深まるとても良い場であると感じています。

松本BBS会

更生保護に関わる地域の方や施設の方などと共に、少年院の少年たちと交流し、成長の手助けをしています。



少年たちとのクリスマス会

活動に参加して

今年度は、岡谷・新潟のBBS会、伊那市雇用主会の方もお招きしました。より多くの団体と交

流できてクリスマス会が盛り上がったうえ、他団体の活動について直接聞いたのは貴重な経験でしたし、繋がりも強化できました。他の活動にも参加したいという話も出たので、チャンスを無駄にしないように活かしていきたいです。

ええじゃん栄村

上水内郡栄村に訪問し、自然環境や年中行事、地域の方の想いに触れながら、地域とは何かを学んでいます。



秋の普請

活動に参加して

栄村小滝地区の水路整備の普請に参加しました。枯れ葉や側溝に溜まった泥、草などをみんなで協力して掃除しま

した。大変でしたが、小滝地区の方々と話しながらの作業はとても楽しかったです。皆さんとてもあたたかく、丁寧に作業を説明してください。料理を振る舞ってくださったり、すごく充実した活動になりました。また、一泊二日の活動だったため、プロジェクトメンバーとも深い交流ができ、さらに活動意欲が高まりました。

「ゆめ」編集

地域行事への参加や地域活動に取り組む学生・地域の方々の取材を行い、情報誌「Volere!!」を作成しています。



地区イベントへの参加

活動に参加して

今年度もVolere!!に掲載するため、新村地区の様々なイベント（新村地区オープン大会でのふら

ばーるバレー、新の里ウォークラリー、ニュースポフェス）に参加させていただきました。新村地区のイベントはとても楽しく、地域の方と関わることができるとも良い機会です。私たちの記事から地域活動に興味を持っていただければ幸いです。

あるぷすタウン

小中学生の子どもたちに社会の仕組みを楽しく学んでもらう「あるぷすタウン」の企画・運営をしています。



「学び」に重点

活動に参加して

第5回あるぷすタウンでは、子どもたちに楽しんでもらうだけでなく、学んでもらうことも意識し

て企画を行いました。職業等の体験ブース運営だけでなく、子どもたちとのアイスブレイクや半日ごとに振り返りの会を行い、学びを深めてもらえるよう働きかけました。初めての試みでしたが、次回に反省点を繋げていきたいです。

◎いただきます!!

子ども料理教室の実施や食品ロス削減レシピの作成など、「食」をキーワードに地域と関わっています。



夏休みの料理教室

活動に参加して

子どもたちが食べ物を大切にするきっかけ作りとして、新村児童センターの小学生と料理教室を

行いました。包丁を使わずに簡単にできて、野菜を美味しく食べられるレシピと作業工程をメンバーで熟考しました。「自分で作ったから残さず食べる!」「家でも作ってみたい!」等の子どもたちの声を聞いて、やりがいを感じました。

すすき川花火大会プロジェクト

毎年8月に開催するすすき川花火大会の実行委員会（地域・企業の方々）と協力し、企画・広報を行っています。



花火大会当日の灯籠設置

活動に参加して

地域づくり考房「ゆめ」の奨励制度を利用して、灯籠の作成を一から企画しました。灯籠自体の

デザインから試作を重ねて、地域の子どもの手にも灯籠に飾るイラストを描いてもらい、個性豊かな灯籠が完成しました。花火大会当日は暗い夜道を照らす道しるべとなり、通りかかったお客さんの目を引くこともできました。

キッズホッケー

大学近隣の児童センターでホッケー教室を行い、運動の楽しさや仲間・道具・ルールの大切さを教えています。



「松本カップ」開催

活動に参加して

お世話になっている新村児童センターで、夏に「松本カップ」という大会を開催しました。普段は学

年ごとに練習や試合をしていますが、松本カップでは学年混合での試合だったこともあり、子どもたちも新鮮な空気感で楽しみながら行っていました。私たちも子どもの笑顔を見ることができ、大会を開催して良かったと感じました。

サンタ・プロジェクト・まつもと

地域の方々と協力して、クリスマスの時期を病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る活動に取り組んでいます。



贈呈式への参加

贈呈先の一つである信濃学園に伺いました。子どもたちはとても楽しみにしており、渡した本を大切に抱えている姿を見て、こちらも嬉しくなりました。本を購入して下さった市民サンタの方々や、準備に携わった人たちの想いを届けることができ、「人から人へ」というサンタ・プロジェクトの基本理念を改めて感じました。

活動に
参加して

贈呈先の一つである信濃学園に伺いました。子どもたちはとても楽しみにしており、渡した本を大切に抱えている姿を見て、こちらも嬉しくなりました。本を購入して下さった市民サンタの方々や、準備に携わった人たちの想いを届けることができ、「人から人へ」というサンタ・プロジェクトの基本理念を改めて感じました。

茶房「みずゞ屋」

新村地区の住民の方と学生の居場所作りを目指して、大学近くの店舗を借りて週2回喫茶を運営しています。



地域の方との協働運営

一緒に運営している地域の方は、通ってくる学生が辛い時には相談に乗り、良いことがあった時には自分のことのように喜んでくれます。こうした温かい対応や気持ちに、私たち学生はとても助けられました。より多くの学生に「人と関わることの大切さ・良さ」に触れてもらいたいです。学生も地域の皆さんも気軽にお越しください!

活動に
参加して

一緒に運営している地域の方は、通ってくる学生が辛い時には相談に乗り、良いことがあった時には自分のことのように喜んでくれます。こうした温かい対応や気持ちに、私たち学生はとても助けられました。より多くの学生に「人と関わることの大切さ・良さ」に触れてもらいたいです。学生も地域の皆さんも気軽にお越しください!

CoderDojo松本@松本大学

活動紹介

CoderDojoは7~17歳の子どもを対象にしたプログラミング道場です。2011年にアイルランドで始まり、世界では110カ国・2,000の道場、日本には195以上の道場があります。

CoderDojo松本@松本大学では、地域の方と学生が協力し、プログラミング学習の場作りを行っています。



これからの教育に「プログラミング学習の必修化」があり、どこかで学びたいと思った時、6月に開催された「Scratch Day 2019」へ参加させていただきました。それを機に、毎月1回本学でCoderDojo松本@松本大学を開催することになりました。この活動を通して、プログラミングを学んでいく上での子どもとの関わり方や毎月行っていく責任感、協力して下さる方との信頼感など様々なことを学んでいます。今後は一緒に活動する学生を増やして、参加して下さる方々に楽しんでいただけるようなCoderDojo松本@松本大学にしていきたいです。

教育学部 学校教育学科 2年 宮尾 拓也

各種表彰紹介

更生保護長野保護観察所長より感謝状授与



少年たちの更生保護事業に関わる松本BBS会での活動を4年間続けて、特に印象に残ったことが2つあります。1つは更正保護の実態を知ったことです。普段の生活では知ることができない少年たちの気持ちや生活を、交流を通じて知ることができ、更正保護の重要性を感じました。もう1つは地域づくり考房『ゆめ』で活動する友人たちと出会ったことです。色んな友人との交流によって、それぞれの活動を知り、活動を続けていく原動力にもなりました。4年間で得た経験を卒業後も活かしていきたいです。4年間本当にお世話になりました。

総合経営学部 観光ホスピタリティ学科
4年 金子 千尋

お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1
松本大学 7号館 2F

T E L : 0263-48-7213 (直通)

F A X : 0263-48-7216 (直通)

E-mail : community@t.matsu.ac.jp

U R L : <https://www.matsumoto-u.ac.jp/yume/>

※開館日時：月～金 10：00～18：00